

経営比較分析表（令和2年度決算）

三重県 度会町

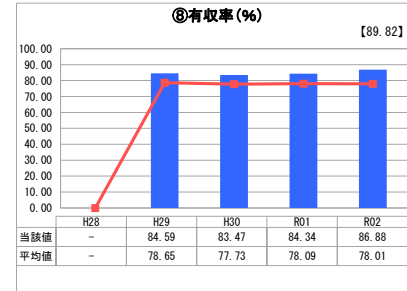
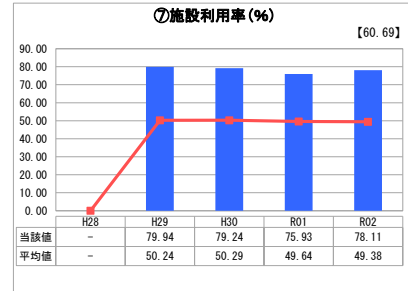
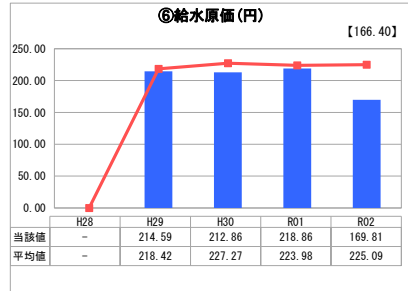
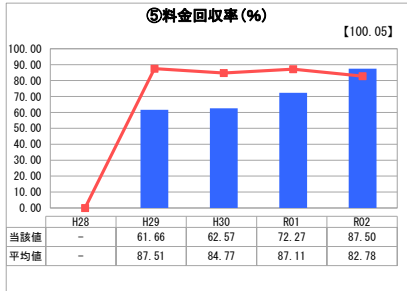
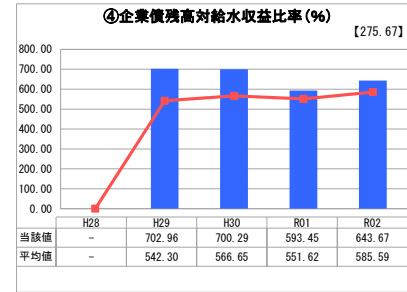
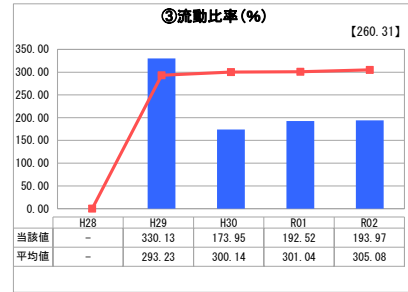
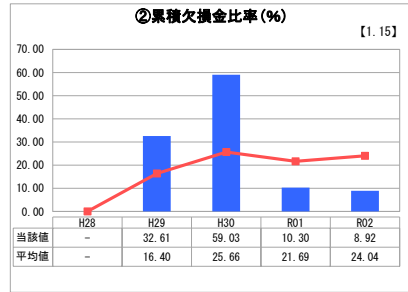
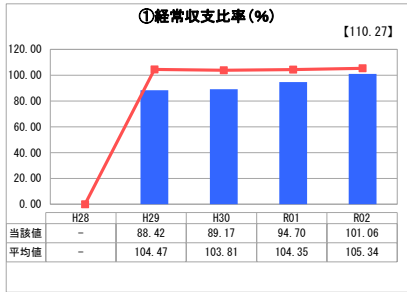
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	72.82	99.86	3,240	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,996	134.98	59.24
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
7,937	21.70	365.76

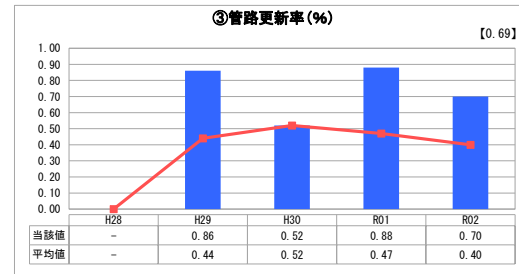
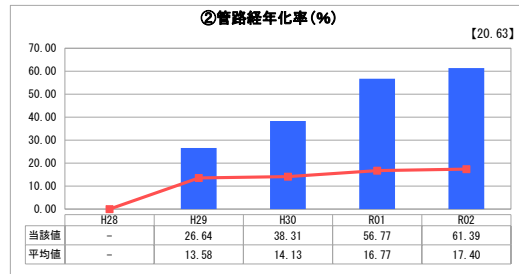
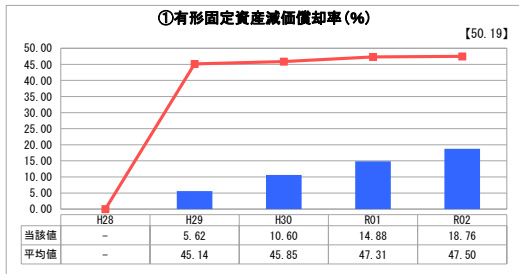
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当町の経常収支比率は、令和元年度に水道料金改定を行ったことから101.06%と100%以上となった。加えて、累積欠損比率も前年度に引き続き、類似団体平均値を下回った。

また、上水道事業への移行に伴う統合整備事業で多額の費用投資を行った結果、企業債残高対給水収益比率は類似団体平均値を大幅に上回っていたが、上記料金改定による収益増加により、同比率は改善している。

料金回収率及び供給単価は上記と同じ理由で改善傾向にあり、給水原価は施設維持等の経費の抑止によって、やや改善されたものの、引き続き、経費削減に努めなければならない。

施設利用率は、類似団体平均値を上回っているが、将来の給水人口の減少による悪化が懸念される。

有収率は漏水調査を随時実施し、早期対応していることから、どうか高い効率性を維持している。

2. 老朽化の状況について

当町の管路は旧簡易水道創設時の昭和50年代に布設されたものが多く、経年率は類似団体平均値を大きく上回っている。早急に安定した管の更新・耐震化を維持できるよう、財源確保や経営に取り組む必要がある。

全体総括

当町の経常収支比率・企業債残高対給水収益比率は類似団体平均値及び全国平均に比較して低い数値となっているものの、令和元年度の水道料金改定に伴う収益増加により、同指標は改善傾向にある。

令和元年度策定の「水道事業経営戦略」に基づき、計画的な料金改定の実施による財源確保と一般会計からの繰入金で収支均衡を図りながら、健全な経営を維持しつつ、施設の耐震化及び管路の更新・耐震化事業を積極的に進める必要がある。